

# JIN

## 06

山形済生病院  
院外広報誌「じん」

愛と思いやりの医療を提供します

PET/CT検査について  
ほか



### CONTENTS

- 01 PET/CT検査について
- 02 専門・認定看護師のご紹介
- 03 4年ぶりの開催！ 済生まつり
- 04 母親学級のご紹介
- 05 患者さまの声
- 06 なでしこプランのご紹介

JIN 山形済生病院 院外広報誌「じん」

発行



〒990-8545 山形県山形市沖町79-1  
TEL 023(682)1111 / FAX 023(682)0123

<https://www.ameria.org/>

## 当院の理念

### MISSION

「仁」... 愛と思いやりの医療を提供します

### VALUE

安全で質の高い医療  
 誠実で信頼される医療  
 連携に基づくチーム医療  
 地域包括ケアシステムの構築

### VISION

急性期から在宅まで地域で安心して暮らせる医療に貢献します  
 患者さんより信頼の得られる病院を目指します

### 受付時間・休診日

月～金	午前 8:45～11:00 午後 1:30～ 3:00	尚、午前8:00及び午後1:00より 1番窓口にて受付番号札を お渡し致します。	休診日	土曜日・日曜日・祝日・年末年始・ 創立記念日(10月15日)
-----	--------------------------------	--	-----	-----------------------------------

※診療科によって、午前のみ・午後のみ診療を行っている場合や終日休みの場合があります。  
詳細はホームページから「外来診療体制一覧」をご覧ください。

### 紹介状をお持ちください

当院の診察を希望される方はかかりつけ医からの紹介状をご持参ください。  
紹介状をお持ちいただくことで診療費や待ち時間の軽減につながり、スムーズな診療が可能となります。また、医療機関を通して診療予約を取る事ができますので、まずはかかりつけ医にご相談ください。

当院では、他の医療機関からの紹介状を持たず、直接来院された患者さんにおかれましては初診に関わる(初診時特別料金)7,000円(税込)を頂戴しております。

### お薬手帳をご活用ください

患者さんが「どんなお薬をどこの医療機関から処方されているか」は、診察する上でとても大切なことです。

他の医療機関に通院されている方は、診察の際にお薬手帳やお薬の説明書をご準備ください。

# JIN

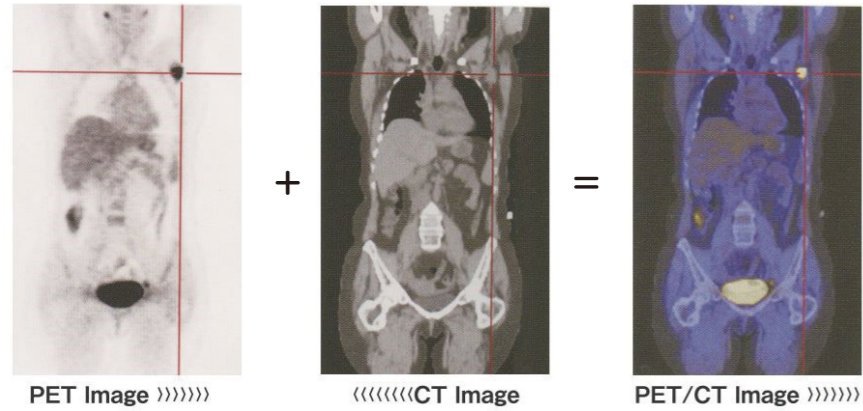
山形済生病院院外広報誌「じん」 vol.6(2023.12月発行)  
発行責任者: 院長 石井 政次  
編集制作: 広報委員会(広報誌編集部会)



山形済生病院  
ホームページはこちら



イメージキャラクター  
「なでりん」



PET/CT検査の画像：左からPET画像・CT画像・PET/CT画像

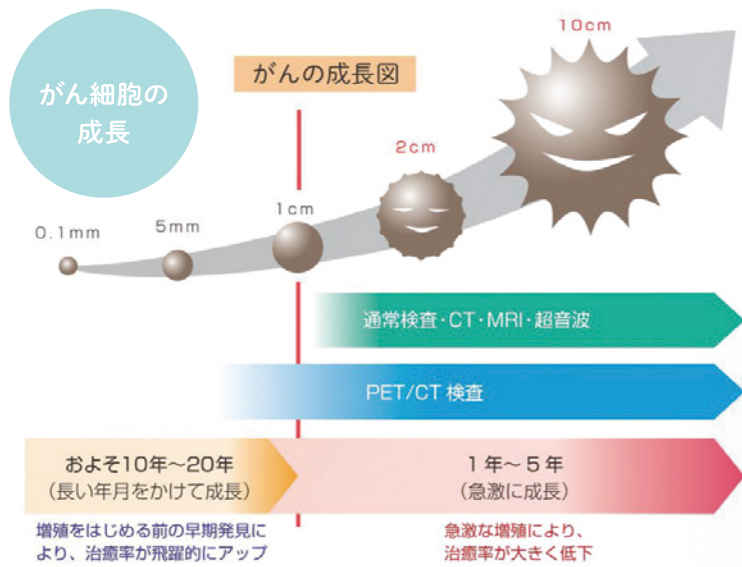
PETは組織の機能を画像化します。

+

CTは組織の形態を画像化します。

||

PET/CT  
高精度な融合画像  
正診率を高め、正確な治療に貢献



がん細胞は、時間の経過とともに大きく成長していきます。効果的にがんを治療するためには、第一にできるだけ早い時期に発見して治療を始めること。第二にがんの成長の状態をできるだけ把握し、最適な治療を施すことが大切です。

PET/CT検査の流れを示します。検査時間は、3時間弱でほぼ全身のがん検診ができます。

検査前の処置は1回の注射のみで、撮

影時間は20～30分程度です。

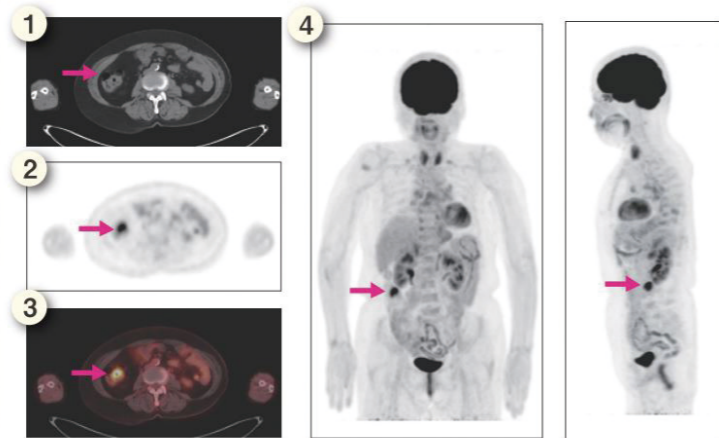
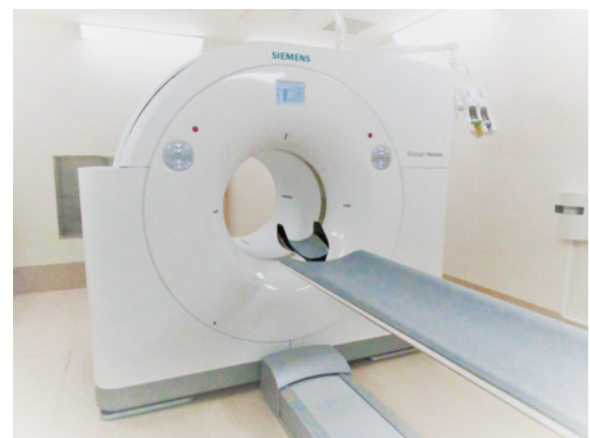
PET/CT検査の良いところは、苦痛なく安全に1回でほぼ全身の「がん」の検査が行えるところです。ただし、万能ではありません。

**検査の留意点**

PET/CT検査で発見される主な「がん」は、頭頸部がん、肺がん、乳がん、食道がん、すい臓がん、直腸がん、子宮がん、悪性リンパ腫、悪性黒色腫などです。また、顕微鏡レベルの小さな「がん」は発見できません。検査の性質上、早期の胃がん、泌尿器系がん、肝細胞がんなどは発見しにくく、内視鏡検査や超音波検査との併用が推奨されます。

詳しくは、山形済生病院のホームページやPET/CTセンター(Tel.023-682-1112)でご確認ください。

最後までお読みいただきありがとうございました。



大腸がん発見例  
①CT像 ②PET像 ③PET/CT像 ④PET全身像

健康に役立つ情報コーナー  
**放射線部**

**PET/CT**  
**検査について**

体内組織の機能を見るPET検査と、体内組織の形態を見るCT検査を重ね合わせることで、より正確な診断が可能となります。

**検査のながれ**

1. 検査前6時間は絶飲食(水は可)
2. 検査薬(FDG)を静脈へ注射
3. 体内に薬剤が広がるまで休憩していただきます
4. PET/CTカメラでの撮影(20～30分)
5. 検査後30分ほど休憩(ガンマ線が減少するまで)
6. 必要に応じ2回目の撮影が追加される場合があります

当院のPET/CTセンターは、2004年(平成16年)5月にオープン。まもなく20年が経とうとしています。

PET検査とは、Positron Emission Tomography(陽電子放出断層撮影)の略で、放射性薬剤を体内に投与し、その分布を画像化する検査です。当センターで行っているPET検査は、FDGという放射性薬剤を用いて「がん」を見つける目的で行っています。

がん細胞は正常細胞の3～8倍のブドウ糖を消費するとされ、ブドウ糖に似た放射性薬剤のFDGは「がん」に集まり、その状況を画像化します。体内組織の機能を見るPET検査と、体内組織の形態を見るCT検査を重ね合わせることで、より正確な診断が可能となります。

# ASAMI MIZUTA

ており、両上肢を抑制されていました。その当時の私は経験が浅く、他のコミュニケーション手段を用いることもできず、口の動きを見ても患者さんの訴えを理解することができませんでした。患者さんの立場で考え、気管チューブや抑制が嫌なのだろうと思いついて、人工呼吸器装着の必要性や、それによって声が出ないこと、予定外抜去を防ぐために抑制を実施していることを説明しました。数回目の訪室時、患者さんが「来るのが遅い」と訴えているのがわかりました。私が謝罪していると、患者さんの目から涙が流れていました。これを見て、やっと患者さんの不安に気がついたのです。このことから誰にでも不安があり、その不安を軽減するためのケアを考えようと思うようになりました。

それから集中治療室（以下、ICU）へ

「倒れている傷病者を助けたい」  
「ベッドサイドケアの充実を図りたい」  
2つの想いから、看護の質向上を目指しています。

異動しました。そこで私は、様々な侵襲を受けICU入室する患者さんの身体に何が起きているのが理解できれば、その状況で行っても良いケアを判断し実践できるのでないかと考え、集中ケア認定看護師の資格を取得しました。その後、さらに看護の質はどういうことか、どうしたら質を向上できるか考えて実践するようになりました。このように「倒れている傷病者を助けたい」「ベッドサイドケアの充実を図りたい」という2つの想いから、私は看護実践を行い認定看護師の資格を取得しました。また、蘇生法を習得しておくことも重要ですが、近年では心停止前の予兆に気づき早期に対応することで心停止を防ぐことが重要視されています。当院でも迅速対応システムが構築されました。その中で、看護師として心停止前の予兆に気づくことができるよう、他の認定看護師と協力しながらフィジ



カルアセスメント研修も開催しています。さらに呼吸ケアサポートチームの一員としても、人工呼吸器装着患者の合併症を予防し早期離脱することを目標に組織横断的な活動も行っています。今後も集中ケア認定看護師としての活動を継続し、看護の質向上に貢献していきたいと考えています。

医療を支える

専門・認定看護師

のご紹介

—集中ケア認定看護師—

集中ケア認定看護師

水田 麻美



集中ケア認定看護師としての看護観

私は、集中ケア認定看護師として、患者さん・ご家族が安心・安楽に過ごせるようにベッドサイドできめ細やかなケアを実践し

たいと考えています。しかし、それは患者さんが苦痛を感じないように寝かせておくことではありません。過大侵襲による反応をアセスメントし、侵襲からの回復過程のどの段階にあるのかを判断して、その段階に応じた患者さんの自然回復を促進できるようなケアを行うことです。これに加えて、人間の生命を守りたいという倫理観も強くあり、緊急時や災害時においては、傷病者、被災者を心身共に安心・安楽に導くためのケアも行っていきたいと考えています。

なぜ認定看護師になれたかったのか・看護の実践

私は看護学生時代から、どのような場所でも倒れている人（傷病者）を発見したら対応できる看護師になりたいと考えていました。そして、看護師になって救命処置の場面を初めて見たときは、先輩看護師の判断と動きに感動しました。ナースステーションで心電図モニターを見てVF（心室細動）

を発見した看護師は、除細動器を取りに行くよう指示し、また別の看護師は救急カートを持って病室に向かいました。2001年当時のACLS（二次救命処置、現在のICLSコース）研修を受講した医師がリーダーとなって、チームによる救命処置が行われていました。適切な処置によって蘇生した患者さんは、心臓カテーテル治療を行い、社会復帰を果たしました。

このことがきっかけで、私も研修等を受講し救命処置の対応ができるようになりました。しかし、倒れている傷病者は、不整脈による心停止とは限りません。そこで、外傷コースや神経蘇生コース、DMAT養成研修なども受講しました。それにより傷病者に関わる前の状況判断も学ぶことができ、多角的な視点を養い、観察やアセスメントを行う力を得て、適切な対応が実践できるようになりました。

一方で、入職当時の看護部理念にあった「ベッドサイドケアの充実」という言葉に惹かれ、患者さんのそばでケアをしていきたいという気持ちが強くありました。いまでも忘れられないのは、食道が手術後1日目患者さんの受け持ち看護師になったときのことです。患者さんは人工呼吸器を装着し

学び・講演  
など

- 「院長講演会(イオン山形北店)」
- 「特別講演会(中京大学 湯浅景元教授)」
- 「ダンス披露・花笠踊り」「脳と身体に効く楽々体操」
- 「SDGSブース・めぐみスポーツ塾体験・ママの骨盤メンテ」

院長講演会では「老後を生き生きと過ごすための運動の重要性」をテーマに講演し、中京大学の湯浅教授からは「トップアスリートに学ぶスポーツ健康法」についてご講演頂きました。健康増進センターめぐみスタッフによるダンスも大いに盛り上がりました。



ワーク  
ショップ・展示  
エクササイズ



- 「カラフルネックレス・バルーンアートワークショップ」
- 「人工関節センター展示コーナー」
- 「訪問看護ステーション  
介護相談・介護お役立ちアイテム 栄養補助食品の紹介・利用者様の作品展示」
- 「膝・股関節のエクササイズ、100歳体操」
- 「ポスター展示(ヒトの卵・妊娠について)」

バルーンアートやネックレス作りのワークショップ、人工関節展示など、お子さんを中心に人気のコーナーでした。訪問看護ステーションのブースや膝股関節のエクササイズなど多くの方にご参加頂きました。

濟生まつりは  
来年も継続して開催予定です。  
お楽しみに!



体験する  
見学する

- 「簡易頸動脈超音波検査」
- 「ハンドマッサージ体験」
- 「院内見学ツアー・くじ引き」

簡易頸動脈超音波検査やハンドマッサージなど、人気があり行列ができる場面もありました。院内見学ツアーでは、薬剤部、リハビリテーション部、PETCTセンター等を見学し、たくさんの方にご参加頂きました。

SAISEI MATSURI  
2023

来場者数は約2,000人で過去最高となりました。  
今後も、地域の方々により楽しんで頂けるよう  
継続して取り組んでいきたいと思ひます。



屋台・縁日  
コーナー

- 「イオン健康コーナー(大塚食品レトルト食品の試食会)」
- 「キッチンカー・屋台(クレープ、だんご焼、玉こんにゃくなど)」
- 「縁日コーナー(わたあめ、水ヨーヨー)」
- 「山形レモネードスタンドプロジェクト(小児がん支援)」
- 「救急車展示見学」

キッチンカーのほか、介護老人保健施設フローラさいせいによる縁日コーナーのわたあめ・水ヨーヨーの無料配布なども子ども連れのご家族を中心に大変好評でした。

# 4年ぶりの開催！ 濟生まつり

当院では、医療や健康づくりに関する様々なイベントを通し、地域の方々との交流を深めることを目的とし

て、「濟生まつり」というイベントを開催しています。近年は新型コロナウイルスの影響で開催を中止していましたが、令和5年9月30日(土)に4年ぶりに開催することができ、開始早々から子ども連れのご家族を中心に多くの方で賑わいました。濟生会とイオンは「未来に向けた持続可能なまちづくり協定」を結んでおり、今回はイオン山形北店でもイベントを同時開催しました。

わくわく  
体験



- 「顕微鏡をのぞいてみよう」
- 「白衣で記念撮影」
- 「臨床工学技士業務体験」

お子さん向けのコーナーでは、看護師、臨床検査技師や、臨床工学技士になった気分、子ども連れのご家族が楽しんで参加されていました。

お薬・栄養・足のお悩み相談コーナー



薬剤師、栄養士、看護師が相談に応じ、この機会に気になることが聞けて良かった。とのご感想を頂きました。足のお悩み相談では、足浴をしながら、看護師が足の見方やシューズの履き方等ご説明させて頂きました。



# 母親学級のご紹介

母親学級では、助産師がこれだけは伝えたい思い!として、赤ちゃんとママのいのちを育む力・産まれる力のお話をしています。ママのお腹で愛情深く育みたいのち。ママと赤ちゃんの力、そして見守る家族の力が合わさって、前向きで自分らしいお産ができることをお話しています。



## 母親学級の 目玉!

企業の栄養士とコラボして、妊娠中の食生活や食材についての疑問、体重コントロールの事など幅広くお話しています。すぐに活かせるポイントやヒントになる話が盛りだくさん、優しい栄養士さんには何でも相談できちゃいますよ。

## 素敵な 香りの中で:

当院にはアロマアドバイザーの資格を持つ助産師がおります。アロマはお産の時の緊張を優しくほぐしてくれます。ママの好きな香りで癒されながら、お産が進んでいきます。  
\*ホーウッド: 森林の香りに包まれて陣痛を乗り越えていきます。  
\*オレングジ: 爽やかな香りで前向きにリフレッシュ!

## 母親学級のお部屋が リニューアル!

「幸せを招く」「仁の心を持つ」とされるキリンが壁紙に描かれた多目的ホールです。母親学級の開催以外にも、アロマセラピストやベビークアセラピストなど様々な資格を持つスタッフが、妊婦さんをわくわくさせるような企画を考えています。

キリンの壁紙が  
かわいい♡



## 今後の母親学級 について

曜日を変えて、様々な母親学級を企画しています。  
\*パパママ学級  
\*アロマの癒しの力を妊娠中そして分娩から産後の日常へ…  
\*赤ちゃんと一緒に 1・2・3! などなど…  
乞ご期待!

詳細は3B病棟までお問い合わせください。



# なでしこプランのご紹介

## 医療福祉相談室



無料低額診療事業の対象の方以外にも、社会的・経済的な理由などで医療・福祉サービスにアクセスできない方、あらゆる生活困窮者を支援することは済生会の根幹事業です。

なでしこギャラリーでの作品展示

本館と南館の間にある「なでしこギャラリー」では、障がいを持つ人の芸術活動の発表として場所の提供をしています。患者さんや職員が心を癒されています。

### 「発表の機会」をお手伝い

障がいを持っている方に、就労支援事業所を通じ院内の業務を委託。他にも物品販売の機会を提供し工賃向上を支援しています。

### 「働き続ける」をお手伝い

生活保護受給者の方が就労までの準備として、自身の健康管理について振り返り、コミュニケーション等の生活技術や作業の訓練をしています。

### 「働く準備」をお手伝い



済生まつりでの障害者就労支援事業所による販売やワークショップの様子



## 患者さまの 声



院内に設置しております「ご意見箱」に、貴重なご意見を頂きありがとうございました。  
お気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。

### 主なご意見内容

コロナのせいとは言え、面会が10分は短すぎます。再考をお願いします。

会計時、マイナンバーを提示したところ診察前に提示してと言われた。マイナンバーはどうするといか聞いたのに自動再来機では教えてもらえず、案内の貼り紙にも気付かなかった。もう少し分かりやすくしてほしい。

レントゲン室の、立って撮影する際、段差が高く降りる時に転んだ。移動ステップは絶対必要。危ないです。よろしくお願いします。

### 回答

面会につきましては新型コロナの感染状況を考慮しながらその都度検討を重ね、病院としては現在のところ面会時間を10分以内と考えております。何卒ご理解ご協力のほどお願い致します。

分かりにくい説明・掲示となりました。申し訳ございませんでした。掲示を追加するとともに、スタッフにも周知を行いました。

この度は大変申し訳ございませんでした。ご指摘ありがとうございます。段差が小さくなるようステップ(高さ12cm)を購入致しました。

## 感謝・お褒めの言葉

入院中大変お世話になりました。面倒なことをお願いしても快く手伝って下さりありがとうございました。看護補助の方は、仕事がスピーディーで、笑顔がストレスを軽減させてくれました。

分娩室で担当して下さいました助産師さんに「1つ1つ乗り越えましょうね～」と声を掛けてもらい、陣痛と向き合うことができました。分娩室には私以外にも他の患者さんもいて、大変そうでしたが、そんな中でも優しく声を掛けてくださり、本当にありがとうございます。助産師さんのおかげで落ち着けました。